

町民の皆さまとの対話会 会議記録

開催日	令和6年11月30日	開催時間	9:30~11:00
会 場	結束克雪センター	参加人数	19人

No.	質問・意見趣旨	回答趣旨
1	国道405号について、清水川原～結束の整備計画はあるか。いつくずれてもおかしくないような状態である。	国県に強く要望しているところです。また、東秋山林道もその都度補修をしています。
2	交通が不便なので町としても気に留めておいてほしい。 物忘れ相談会等があっても車が無くて行けない人もいる。送迎することはできないか。またオンライン開催も検討できないか。	公共交通の課題に対して、よりよいありかたを検討していきます。協力隊など若い力の活用やライドシェアなども検討したいと考えています。津南病院と関係のある研修医が秋山郷の医療を何とかしたい気持ちを持っています。アイデアをもらいながら対応していきたいと考えています。
3	萌木の里について、人（客）が少ない。地域が衰退しているように見える。管理人はやる気があるのか。町も観光に力を入れてほしい。 管理人からは事業計画を出してもらい、ダメなら方向性を変えることも考えてもいいのではないかな。 町として秋山郷の観光のことをもっと考えてもらいたい。	委託者と協議は進めているところです。 町も何とかしたいと思っていますが、施設の老朽化も進んでいる状況です。 大赤沢（芸術祭）の誘客を考えて、引き続き話し合っていきます。
4	萌木の里について。 町も手を引きたいと思っているなら、方向性を考えなければならない。（方向転換を）	ご意見を伺いながら、どのような形がいいのか検討していきます。
5	大赤沢の芸術祭では、地元がメインの作品となってよかった。 秋山郷が持っているものを保全・発信することを継続していつてもらいたい。	大赤沢小は地域の皆様のご協力もあり、秋山郷を深く学べる施設になりました。 大赤沢小の作品は常設する予定であるため、しっかり維持していきます。
6	国道405号が狭い。生活道路であり、改良を要望してほしい。 公共交通についても課題である。病院も遠いためオンライン診断などの検討を。 萌木の里について、大赤沢の芸術祭では忙しかった。（集落が無くならないように）地域活性化につなげる取組を。	公共交通及び萌木の里については大きな課題であると認識しています。引き続き検討させていただきます。
7	今年の春に、大赤沢で急病者があり、救急車を呼んだが出払っていて対応できないとのことで個人の車に対応した。タクシーも対応できなかった。たまたま運が悪かっただけかもしれないが、町でも原因を調べてほしい。	消防署に確認し、どのような経緯だったのか確認させていただきます。
8	年に5～6回程度、自衛隊飛行機が低空で飛行していることがある。騒音でうるさく、また危険を感じる。町として抗議してほしい。	実態を確認させていただきます。
9	共同アンテナの維持が大変である。管理を引き継いでくれる人もいなくて今後の維持管理が心配である。ケーブルテレビに加入できれば維持管理も楽になると思うため移行したい。役場の担当にも確認するが。	ケーブルテレビは現在十日町市で民間事業者がサービスを開始しています。数年後には津南町でも開始するようですが、地域での要望はお伝えしていきます。
10	インターネットについて、ホームルーターに変えたが、前より弱くなった。電波塔などを立ててもらいたい。	事業者にお伝えしていきます。

11	除雪・排雪作業を業者が行っているが、トラックに雪を積まない状態で رفتり来たりしている。町はこの状況を知っているのか。	状況を確認させていただきます。
12	ニュー・グリーンピア津南の契約はどうなるのか。	現在、在り方を検討していますが、無くそうとする気持ちはありません。存続させるために動いています。 修繕増により負担増になっている状況です。町で持ち続けることができるのかも含めて検討していきます。
13	車を持っていなかったり、免許を返納したりしている人がいる。出張医療は考えていないか。	訪問診療を行っていますので、ご相談いただければと思います。オンライン診療についても検討していきます。
14	津南病院の藤川先生の状況は？	ご病気であり、まだ復帰できていません。（対話会時点） （令和7年1月から復帰しています）
15	小学校合併の進捗状況、保育園統合どうなるか。また統廃合に伴って空き校舎の活用の検討はしているか。	小学校1校・保育園1園に再編を検討しているところです。 R9に津南小へ統合、R11目途にひまわり保育園に統合を考えています。 空き校舎・園の検討はこれから進めていきます。他の公共施設も含めて、活用方法を検討していきます。
16	4月に移住してきたが、どの自治体も仕事がないと人は来ない。どうやって仕事を作るか、種をまいてほしい。 個人的には秋山郷の資源を発信できたらと思っている。	人を呼び込むために、仕事づくりは重要なことだと思います。引き続き検討していきます。
17	地域おこし協力隊は増やしていきたいか。 また、移住対策はあるか。	秋山郷では協力隊を受け入れてほしいと考えています。 移住対策としては、住居や仕事課題だと感じています。移住コーディネーターがマッチングの業務をしています。